

農業博物館ニュース

No. 3 1983. 2. 1

前館長のあいさつ

大塚 一 止

館長の就任が昭和53年からで館長を4ヶ年務めたことになる。当初は色々の調査、展示品の問合せでテンテコ舞いをし、館長とは雑用係であると感じたが、これもなつかしい思い出である。しかし藤井先生をはじめ委員の方々、更に昭和55年から農学科の厚意で学芸員として中島技官が半週就任し、目録・展示品の整備・映画・ビデオの放映実施等、館内が見違えるようになったのは大変うれしいことである。館長在任中の事業について簡単に述べたい。

1. 博物館相当施設指定

立派な展示品が多いという関係者の声で意を強くし、正式の博物館の指定を受けるため館長や藤井先生が上京して、展示品についての検討や色々のアドバイスを中央よりいただき、昭和54年11月6日指定申請書類一切を提出した。そして約2ヶ月後の同年12月27日に文部省告示第178号博物館相当施設に指定された。あまりにも早かったので驚いた次第である。この指定については色々と人にはいわれぬ苦勞が多かったが、後日話をする機会もあるでしょう。この指定については学部長、事務長はじめ各委員、事務官の方々の苦勞も大変であり、ここに厚く感謝する次第である。

2. 学芸員養成についての準備経過

相当施設の指定を受けて以来、藤井先生や館長が中心となり博物館運営に必要な学芸員養成のための必須科目、選択科目、教官編成等詳細な検討を行った結果、宮崎大学でも各学部が協力すれば学芸員養成も可能であるとの結論に達した。そこで教育・工学の両学部呼びかけ、昭和57年1月29日予備委員会を行い、準備委員会を開催することとなった。第1回準備委員会(委員長大塚一止)を同年2月24日に開催、以来5回の会合を行った結果、必須科目、選択科目やその単位数、並びに担当教官を同委員会で決定した。その後委員長が学芸員養成の目的、経過概要等を一応まとめ、委員会の結論と合せ文書として学生部長に提出しており、今後は大学当局が推進することになっている。

現館長のあいさつ

斎藤 勇 夫

農業技術発展のニーズに答えるうえで農業博物館の使命は大きい。その一端を担うべく農業博物館ニュースを発行することになった。

従来農業博物館の刊行物として、案内(聊24)、館報(聊25・40)、しおり(聊38・42)、ニュース(聊44・45)が断片的に刊行されていたが、今後は随次発行し、農業博物館の利用に役立てていきたい。

農業博物館の沿革(1)

- 昭和 7年 9月15日 浅野茂夫, 梅田元実, 清山芳雄 3氏が満州視察の折, 大連満州資源館を見学し, 満蒙における産業の縮図を一目瞭然で見ることができ, 同行者同志で学校にも農林業に関する博物館がほしいものだと合組をうち合った。
- 昭和 7年10月 2日 宮崎高等農林学校同窓会役員会の席上, 母校の10周年が近くなったので事業計画の中に農業博物館建設の発案がなされ, 同窓生各位に往復はがきで賛否を問うたところ全員の賛同を得た。
- 昭和 8年 2月 1日 農業博物館建設趣意書を発送する。
- 昭和 9年 4月10日 文部省に建設予定地の借地願いを申請する。
- 昭和10年 4月17日 地鎮祭を行う。(設計: 鹿島 透, 工事請負: 大塚一二, 現場監督: 鈴木久市)
- 昭和10年 7月25日 新築落成。
- 昭和10年 9月11日 大塚組から引渡しがある(木造2階建洋館422m²)。
- 昭和10年11月14日 天皇行幸になり, 農業博物館内を観覧される。
- 昭和11年 1月14日 宮崎高等農林学校同窓会・母校創立十周年記念会より宮崎高等農林学校に寄贈式を行う。
- 昭和11年 2月26日 文部省に寄付願を申請する。
- 昭和11年 3月10日 文部省寄付願を受理する(受付246号)。
- 昭和11年 3月14日 初代館長 浅野茂夫氏 発令がある。
- 昭和11年 5月28日 文部省寄付願いを承認する。
- 昭和11年 7月22日 谷口勇三氏事務嘱託。
- 昭和11年 9月 5日 農業博物館委員会を開催する。
- 昭和11年11月14日 農業博物館を開館する(9~16時)。
- 昭和14年 7月19日 大暴風のため玄関・天井・ガラスが破損。
- 昭和14年12月27日 農業博物館協議会を開催する。
- 昭和16年 7月19日 強震あり陳列棚の標本破損。
- 昭和16年10月 1日 大暴風雨のため玄関・屋根破損。
- 昭和16年11月19日 強震あり陳列標本・壁破損。
- 昭和20年 4月 1日 農事相談部を併置する。
- 昭和20年 9月17日 大暴風雨のため建物が北に傾き白壁落ちる。閉館する。
- 昭和20年 9月19日 事務室を動物教室に移す。
- 昭和20年10月 5日 鹿島 透氏農業博物館内を点検する。
- 昭和20年10月24日 志田熊吉氏農業博物館補修打合せ。
- 昭和20年11月 5日 補修工事を始める(11月13日完工)。
- 昭和20年11月16日 事務室を農業博物館に移す。
- 昭和21年 4月 1日 農業博物館評議員の選挙。
- 昭和21年 4月 6日 農業博物館評議員会議開催。
- 昭和21年11月25日 復旧工事起工(昭和22年2月23日完工)。

農業博物館歴代館長

昭和11年度	浅野 茂夫
昭和11年度～昭和16年度	日野 巖
昭和17年度～昭和18年度	中島 茂 (事務取扱)
昭和19年度～昭和27年度	中島 茂
昭和28年度～昭和30年度	寺尾 新
昭和31年度～昭和32年度	中島 茂
昭和33年度～昭和34年度	浅野 茂夫
昭和35年度～昭和40年度	中島 茂
昭和40年度～昭和41年度	平田 正一
昭和42年度～昭和45年度	穴戸 元彦
昭和46年度～昭和48年度	外山 信男
昭和49年度	広江 一正
昭和50年度	木村 正雄
昭和51年度～昭和52年度	清水 薫
昭和53年度～昭和56年度	大塚 一止
昭和57年度～	斎藤 勇夫

昭和56年度農業博物館利用状況

月別	見学者	和室利用者	合 計
4月	203	170	373
5月	5	25	30
6月	253	75	328
7月	64	71	135
8月	47	55	102
9月	5	148	153
10月	442	140	582
11月	11	122	133
12月	11	115	126
1月	34	81	115
2月	7	58	65
3月	114	70	184
合 計	1196	1130	2326

陳列品紹介 (1) 樹木材鑑：宮崎県下に産する代表的樹木カヤ・イヌマキ・ツガ・クロマツ・アカマツ・ヒノキ・スギ・スギ・アカガシ・シラカシ・ツクバネガシ・ウラジロガシ・イチイガシ・マテバシイ・ケヤキ・クスノキ・タブノキ・イスノキ・シイ・サクラ・モミ (直径40cm、高さ75cm)、その他板状(22.5×16×2cm)の国内外産22種の標本がある。

録画ならびに録音目録

豊かな土地が消えゆく	(食糧・地球は警告する)	VTR	80分
一粒の種が世界を変える	(食糧・地球は警告する)	VTR	80分
穀物戦争しのびよる	(食糧・地球は警告する)	VTR	80分
遺伝子工学や受精卵移植	(世界の食糧最前線)	VTR	25分
石油メジャーなどの動向	(世界の食糧最前線)	VTR	25分
欧米各国の食糧安全対策	(世界の食糧最前線)	VTR	25分
国内林業SOS	(森林崩壊)	VTR	55分
森はよみがえるか	(森林崩壊)	VTR	55分
森食い虫ニッポン	(森林崩壊)	VTR	55分
サプリメント飼料とプレミックス飼料	アメリカ大豆協会	瀬良英雄	VTR 120分
果実新事情	農業評論家	加賀見 宏	VTR 120分
地域流通と地方市場	日本大学	山口昭雄	VTR 120分
ミカン産地の過剰対策	愛媛県果試	山口勝市	VTR 30分
畑作機械化の展望	北海道農試	加藤勝久	VTR 60分
バイオマス変換計画	(最新技術と農業) 農林技術会議	速水昭彦	VTR 60分
グリーンエネルギー計画	(最新技術と農業) 農林技術会議	小島睦男	VTR 60分
遺伝子工学	(最新技術と農業) 農林技術会議	日野稔彦	VTR 60分
コンピューター農業	京都大学	山下律也	VTR 60分
キノコ新技術	林業試験場	古川久彦	VTR 60分
食品産業センター	食品産業センター	石田 朗	VTR 60分
食生活を見直す	千葉県立衛生短	高居百合子	VTR 60分
田畑輪換の条件	農林技術情報協会	川井一之	VTR 120分
コンピューターの記憶としくみ			VTR 30分
施設園芸 コストダウンの追求	農林水産省野菜試	小谷 晃	VTR 120分
省エネ農業の挑戦	農林水産省土木試	千場 豪	VTR 120分
米作り・質と量のバランス	北海道大学	七戸長生	VTR 60分
うまい米作りのポイント	東北大学	星川清親	VTR 60分

注；VTRはVHS（カセット型）で録画してありますので、ご利用ください。

なお ご利用の方・録画ご希望の方は3日前までにご連絡ください。

後記 農業博物館ニュース3号は題字が斎藤勇夫館長の肉筆で、本文は MZ-80B JET-1000を用いて作成したものです。農業博物館の沿革は継続して行きますのでお手元に関係資料がありましたら、ご一報いただければ幸いです。

農業博物館ニュース No. 3 発行年月日 昭和58年 2月 1日

編集発行 宮崎大学農学部農業博物館
〒880 宮崎市船塚3丁目210
宮崎大学農学部 ☎0985-27-0214